

年	組	名前
---	---	----

# 28件増の115件

# 総額6千万円減

## 上半期の特殊詐欺被害

県警は今年上半期に発生した特殊詐欺被害の概要をまとめました。

県警は今年上半期（1～6月）に発生した特殊詐欺被害の概要をまとめた。件数は115件、被害額は約2億5700万円。過去最悪を記録した前年同期に比べ、被害額は6千万円余り減ったものの、件数は28件増えた。県警は「依然として多くの被害が出ており、危機的な状況」と注意を呼び掛けている。

県警生活安全企画課によると、手口別で最多は架空請求の56件。「アタルトサイト」の料金未納などと連絡し、現金や電子マネーをだまし取るもので、1～3月に頻発。3カ月間だけで38件の届け出があった。次に多かったのは還付金詐欺の25件。「医療費の過払い金が戻る」などとうそをつき、ATM（現金自動預払機）に誘導。被害者に操作させ金をだまし取る手口で、特に1～2月に多かった。息子などをかたるオレオレ詐欺は16件。この数年は発生が減っていたが、今年は6月だけで10件起きた。

手口	件数	被害額
オレオレ	16	6875万円
架空請求	56	9004万円
融資保証金	11	130万円
還付金	25	2118万円
金融商品	3	6930万円
ギャンブル必勝	2	380万円
交際あっせん	2	251万円
計	115	2億5688万円

（1万円未満は切り捨て）

## 手口、最多は架空請求

振り込みが6割以上。電子マネーやネットバンキングの被害も増加傾向という。同課が被害実態を分析したところ、還付金詐欺の手口は毎月15日前後と月末に集中していた。年金や給与の支給日を狙っている可能性が高いとみている。曜日では木、金曜日、時間帯では午前中が多く、「その週、その日のうちに手続きが必要」と焦らせ、相談をさせないためではないか」としている。

県警は詐欺グループの摘発の他、迷惑電話チェッカーや通話録音機など機器の活用、電話で注意を呼び掛けるコールセンター事業など抑止対策に取り組んでいる。同課は「巧妙・多様化する手口を知り、被害に遭わないようにしてほしい。おかしいと思ったら、家族や警察に相談を」と話した。

（2015年7月25日夕刊11面）

①上半期の1件当たりの被害額は、いくらになりますか？

.....

.....

.....

.....

②「還付金詐欺」とはどのような手口の詐欺でしょう。

.....

.....

.....

.....

③被害の多い高齢者に、注意を呼び掛けるメッセージを考えてみよう。

.....

.....

.....

.....